



厚労省への遺骨引渡し式 H31・3・7



当会からの参列者 前列左から4人目が筆者の小松順子さん

マーシャル諸島戦没者遺骨に参拝して

令和元年10月1日

令和元年9月24日夏の名残が色濃くあるなか、霞が関の厚労省が入っている合同庁舎に行きました

現地慰霊に数多く参加されている佐藤知子様からのお誘いがあり、草加在住の妹と私を含め3人で出向きました。佐藤様がコンタクトを取って下さっていたのでスムーズに事が運びました。

8畳ほどの部屋にはマーシャル諸島戦没者の霊と書かれた白木の箱5個が安置され、香も焚かれていて厳粛な雰囲気にも包まれていました。「長い間ご苦労様でした、安らかに眠り下さい」

通り一遍の言葉のようですが共に戦い武運つたなく最期を迎えた父を含め多くの方々へ心から伝えました。春の靖国参拝とはまた違ったかたちで慰霊することができ、声をかけて下さった佐藤様には本当に感謝しています。帰宅後僅かに残っている写真や資料に目を通しありし日の父を偲びました。

靖国の大鳥居をバックに5才ぐらいの私と父が写っている二人だけの写真、昭和17年と18年の2回青森県の大湊で夏休み一ヶ月間家族皆で過ごし海水浴に行ったことなど鮮明に思い出しました。

余談ですが平成18年10月厚労省に父の手がかりが得られないかと手紙で伺った結果、該当者はいないとの電話連絡があり釈然としない気持ちでもそれでも毎年の春の慰霊祭には参加していました。

計らずも昨年マーシャルにご縁のある大川史織さんの資料から確実に父が在籍していたことを聞かされ今回の参拝は余計気持ちが入りました。

草加の妹が詠んだ句 「娘ら五人父に託され慰霊毎 語りて母は百歳で逝く」

9年前悔いなき人生を全うした母を父は見守っていてくれたのでしょう、

誇れる両親です。

埼玉県所沢市在住 小松順子 86歳

(注) 平成7年環礁第63号に母 高橋とし子さんの投稿記事あり

平成30年本部だより第38号に妹 大井和子さんの投稿記事あり

マーシャル方面遺族会事務局より

ウオツゼ島からご帰還された御遺骨48柱は現在厚生労働省内の安置所に安置されております。

来年5月に千鳥ヶ淵戦没者墓苑に納骨される予定です

厚労省内の安置所にお参りされたい方は当会事務局までご連絡下さい。